

設備等のデータベースと 保全計画の策定について

2015年11月30日
東京電力株式会社

1. 設備等のデータベースと保全計画策定の取り組み

- これまで、1Fに設置された設備等についてデータベースと保全計画の作成を進めているが、急速なタンク増設や汚染水全量処理などの対応に集中していたため、2014年度以降に設置した水処理設備をはじめ、一部の設備について作成の遅れが生じている。
- 5月に発生した1000トンノッチタンク移送ホース漏えい事象において、当該設備は設備データベースと保全計画が未作成の状態であった。
- 1Fに設置されている設備を適切に管理するために、設備等のデータベース及び保全計画の作成・維持管理を行うことは今後長期にわたる廃炉作業を円滑に進めていくための重要な活動である。
- 合わせて、保全計画の基礎データとなる図面類を計画的に整備し、リスク総点検の進捗管理表を作成する。



設備等のデータベース及び保全計画を早急に策定するとともに、設備所管組織の取り組み状況を確認・支援し、廃炉カンパニーの組織全体で設備の適切な維持管理が行われるよう、体制を整備した。

2. 設備のデータベースと保全計画の策定（1 / 2）

2-1 設備データベースと個々の設備の保全計画

- 仮設の設備を含め、当社が所有・管理する設備について保全計画※の作成が完了した。

※：管理すべき設備をデータベース化し保全内容（点検頻度、点検方法、設備修繕・取替の計画等）を示したものの。

- 管理対象設備（保全計画を作成して管理する設備）
 - 運用を開始している実施計画に記載の設備（運用開始直後の設備は運用状況を踏まえて速やかに作成）
 - 汚染水・ダストを取り扱う仮設設備*（ホース、タンク、ポンプ・ファン、ダストモニタ、電源）

*：工事監理で扱う治工具類は除く

2. 設備のデータベースと保全計画の策定（2／2）

2-2 図面類の整備

- 当社が設備を運営するために必要な図面（マスター図※）の初期整備については、2015年度中に整備を完了する計画で進めている。

※：マスター図

- 単線結線図：高圧（M／C・P／C）、低圧（MCC他）
- P&ID：炉注設備・SFP冷却設備・N2封入設備等冷却設備、KURION・SARRY・ALPS・凍土壁等水処理設備、焼却設備、その他設備
- 配置図：建物配置図、電源・配管等ルート図、機器配置図、埋設管理図

2-3 リスク総点検の対応進捗管理表

- 敷地境界外に影響を与える可能性があるリスクの総点検を実施し、対象とすべき190項目を抽出し、今後対応が必要な項目について優先度を考慮した進捗管理表を作成し、毎月進捗を報告している。

参考3. 設備等の維持管理体制

